

# 令和4年度 第1回熊本市小中一貫教育懇談会（概要版）

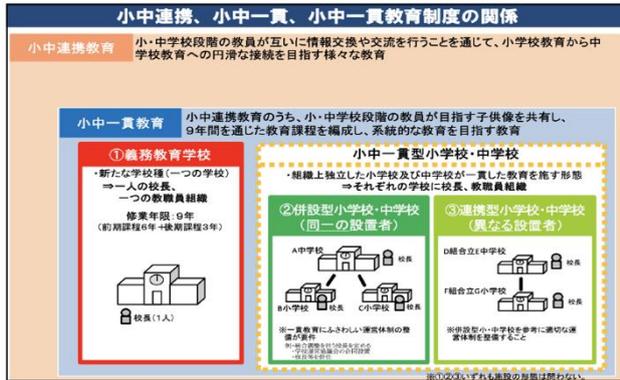
「熊本市の小中一貫教育の取組について」 令和4年7月25日（月）14:00～15:30

## 事務局説明 本市の小中一貫教育の取組について

### ①小中連携教育と小中一貫教育について

「小中連携教育」とは、小学校から中学校への円滑な接続を目指す様々な教育のこと

「小中一貫教育」とは、小中連携教育の中に含まれ、小中学校の教員がめざす子ども像を共有し、9年間を通じた系統的な取組を目指す教育のこと



小中一貫した教育課程の編成・実施に関する手引（一部抜粋） 出典：平成28年12月26日 文部科学省

### ②小中一貫教育の目的

中学校区の課題を解決する

小学生の中学校進学に対する不安感を軽減

義務教育9年間で児童生徒を育てる意識の醸成

生徒の暴力行為や不登校、いじめの解消など

### ③小中一貫教育のメリット

- (1) いわゆる「中1ギャップ」の緩和・小学生の中学校進学に対する不安感の軽減
- (2) 教育課程の編成・実施による指導の一貫性の確保
- (3) 小中学校間の教職員の意識改革
- (4) 学力向上・学習意欲の向上
- (5) 良好な人間関係の構築・不登校児童生徒の減少
- (6) 小規模校の弊害の解消 など

「令和3年度本市の小中一貫教育に関する調査」より上記の(1)～(3)の3点が、小中一貫教育を実践した学校のグループの方が実践しなかった学校のグループよりよい結果が見られた。

### ④今後の小中一貫校への移行予定

グループ	年度	R3	R4	R5	R6	R7
Aグループ (小1中1)		小中一貫校（富合・芳野・河内・江南・二岡）				
Bグループ (小複中1)	モデル校		小中一貫校（江原）			
	モデル校		小中一貫校（天明）			
	モデル校			小中一貫校（楠木北）		
	モデル校			小中一貫校（楠）		
	モデル校 (下益城・城南・五童・鹿南)			小中一貫校		
	モデル校 (4～5中学校区予定)			モデル校 (4～5中学校区予定)	小中一貫校 (4～5中学校区予定)	小中一貫校

※ 校区は中学校区で記載

## 意見交換 特色ある取組（小中一貫カリキュラム等）について

### 意見交換のまとめ

#### ○小中一貫カリキュラムについて

小中一貫カリキュラムを作成する際に、小中学校の先生や地域の人など、どのような人材が必要なのかを共通理解し、担当者として配置することでカリキュラムが整理され、見える化してくる。

#### ○情報共有の大切さについて

保護者・子どもたちへの説明をし、卒業した人や地域の人にも賛同を得て進めていくことが大切である。特に、Bグループでは今後様々な可能性があるが、情報を共有するための、学校を超えた出会いの場の確保が必要である。

#### ○9年間を通じた小中一貫教育目標について

グループ内の小中学校同士で、可能な限り学校教育目標を擦り合わせ、9年間でどのような子どもたちを育てたいかを先生方がみんなで話し合う過程が大事であり、一緒に作り上げたものが小中一貫校の教育目標となる。このことが、先生方の情報共有、子どものスタートとゴールをしっかりと見つめる力になる。